



ふじみだい

探究的な学び

校長 和田 みずほ

梅雨空の下、紫陽花が揺れています。時折、校長室の前に置いた植物図鑑を開いて紫陽花の秘密を探る姿が見られます。総合的な学習の時間には、児童の興味関心を基にした活動が始まっています。その一部を紹介します。

4年 富士見台小学校の周辺の地域は、関東大震災のときに、地震の後に起きた火事のため大きな被害を受けました。関東大震災から100年たった今年、まちでは、どのような防災の取組がなされているの

だろうかという課題をもち、探究が始まりました。写真は地域の方にお話を伺っている様子です。課題を解決する過程で、国語や社会、算数などに関連付けた学習が進んでいます。



5年 田んぼでは、田植えを終えた稲がそよんでいます。5年生一人ひとりが自分のバケツや学校の田んぼで米作りに挑戦しています。どうしたらおいしいお米がとれるだろうかという課題意識をもち、JA 庄内から、日向さんと吉泉さんをお招きし、苗の育て方を教えていただきました。



6年 地域を見直し、地域ケアプラザに興味をもちました。見学を通して理解を深めています。



6年 パルシステムの協力で SDGs についての理解を広げる時間をもちました。与えられた時間とお金を使ってプロジェクト活動を行うことで、最終的に目標を達成するということを模擬体験しました。人間の行動が、経済や環境にどのような影響を及ぼすかに思いを馳せました。



自分の生活や環境を見直し、課題を設定し、情報を収集し、情報を整理・分析し、まとめ・表現し、振り返り、新たな課題に気付き、また、解決する。その過程で、課題を発見する力、どのように解決するか工夫する力、友達や地域の方など様々な人とつながって課題に取り組む力を育てています。学びの結果だけでなく、何に課題を見出し、解決までにどのような過程をたどったかを大切にします。

子どもたちが予測困難な時代に、問題を解決しながら、たくましく生きていく力を身に付けていくことができるよう、取り上げるテーマを精選し、子どもたちが試行錯誤する時間を大切にして取り組んでいきます。

保護者の皆様、地域の皆様のお力添えに感謝しています。今月も富士見台小学校の教育活動へのご理解、ご協力をお願いします。

